

安全に  
使うための

おう れん げ どく とう  
**黄連解毒湯の確認票**

この漢方薬を服用する人についての質問です。

以前に黄連解毒湯を服用して、気持ちが悪くなったりアレルギー症状（発疹・発赤、かゆみ等）を起こしたりしたことがありますか？

↓ いいえ

はい

服用できません

- 今の症状、またはその他の病気で医師の治療を受けていますか？
- 日常的に服用している薬や健康食品、サプリメントがありますか？
- 妊娠中、または妊娠している可能性がありますか？

↓ すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

薬剤師または登録販売者に相談してください

次のような症状がありますか？

- |  |                                |                                   |
|--|--------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 鼻血                | <input type="checkbox"/> 不眠症   | <input type="checkbox"/> 胃炎       |
| <input type="checkbox"/> 神経症（いろいろして落ち着かない） |                                | <input type="checkbox"/> 二日酔      |
| <input type="checkbox"/> 月経や出産に伴う体調不良      |                                | <input type="checkbox"/> めまい・ふらつき |
| <input type="checkbox"/> 動悸                | <input type="checkbox"/> 更年期障害 | <input type="checkbox"/> 湿疹・皮膚炎   |
| <input type="checkbox"/> 皮膚のかゆみ            | <input type="checkbox"/> 口内炎   |                                   |

↓ 1つ以上「はい」

すべて「いいえ」

服用はおすすめできません\*

平素の体力は充実していますか？

↓ 中等度／充実

虚弱

- のぼせ気味ですか？
- 顔色が赤いですか？
- いろいろして落ち着かないことがありますか？

↓ 1つ以上「はい」

すべて「いいえ」

この漢方薬はあなたの体質・症状に合わないかもしれません  
が、あなたの意思により服用可能です



服用できます

\* 最終的な判断は、薬剤師または登録販売者に相談して決めてください

鼻血、二日酔に使用する場合には、5～6回まで服用しても症状がよくならない時は、医師、薬剤師、または登録販売者に相談してください。

## 効能・効果

体力中等度以上で、のぼせぎみで顔色赤く、いろいろして落ち着かない傾向のあるものの次の諸症：鼻出血、不眠症、神経症、胃炎、二日酔、血の道症、めまい、動悸、更年期障害、湿疹・皮膚炎、皮膚のかゆみ、口内炎

## 日本漢方生薬製剤協会による主な商品例

ウチダの黄連解毒丸	ウチダ和漢薬	黄連解毒湯「タキザワ」	タキザワ漢方廠
黄解A錠	一元製薬	オースギコーミン	大杉製薬
オウゲEP錠	剤盛堂薬品	「クラシエ」漢方黄連解毒湯エキス顆粒	クラシエ薬品
オウゲインN「コタロー」	小太郎漢方製薬	JPS黄連解毒湯エキス錠N	ジェーピーエス製薬
黄連解毒湯Aエキス細粒「分包」三和生薬	三和生薬	ツムラ漢方黄連解毒湯エキス顆粒A	ツムラ
黄連解毒湯エキス〔細粒〕4	松浦薬業	トチモトの黄連解毒湯	栄本天海堂
黄連解毒湯エキス散〔勝昌〕	東洋薬行	花扇黄解丸	小西製薬

## 使用上の注意

### してはいけないこと

次の人服用しないこと

生後3ヵ月未満の乳児。

### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人。
- (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

3. 1ヵ月位(鼻出血、二日酔に服用する場合には5~6回)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

4. 長期服用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

## 処方構成生薬

黄連、黄芩、黄柏、山梔子

## 黄連解毒湯の体力分類に対する適応度 (服用される方の普段の体力でお考えください)

I 体力虚弱	II やや虚弱	III 体力中等度	IV 比較的体力がある	V 体力充実
0	0	1	2	2

2:最適、1:適応可能、0:原則としては適さない